

《共通科目》

授業科目名	研究 方法 B-I (質的研究方法の基礎) <i>Research Methods B- I</i>		担当教員	倉岡 有美子	
開講年次	1年後期	セメスター	2	時間数(単位数)	15(1)
必修選択	選択	授業形態	講義	使用教室	
授業の目的	質的研究手法を用いるための基礎知識として、質的データの収集方法および分析方法、さらに分析結果の解釈等について、文献や模擬データによる演習によって学ぶ。				
到達目標	<ol style="list-style-type: none"> <li>1. データ収集方法について、演習によりデータ収集を体験し、質的データの意味について理解することができる。</li> <li>2. データの分析方法について、演習によりコード化などを体験し、データをまとめていく分析の意味について理解することができる。</li> <li>3. 質的研究におけるデータ分析と分析後の解釈のつながりを検討することができる。</li> </ol>				
授業計画	<ol style="list-style-type: none"> <li>1回 質的研究の特徴 研究方法(研究方法総論)で学習した質的研究の特徴について</li> <li>2回 質的データとは(1) 質的データ収集演習</li> <li>3回 質的データとは(2) 質的データ収集演習</li> <li>4回 質的データの意味とは 文献研究、事例研究等も含めて</li> <li>5回 データの分析方法(1) 模擬データによる演習 コード化等のデータとの向き合い方</li> <li>6回 データの分析方法(2) 模擬データによる演習 データをまとめていく過程について質的記述的研究を中心に学ぶ</li> <li>7回 質的研究におけるデータ分析後の解釈とは</li> <li>8回 研究目的と質的研究手法の関係</li> </ol>				
学習方法	研究方法(研究方法総論)で学んだ質的研究法の基礎知識を元に、質的研究に共通しているデータの収集方法および分析方法、さらに分析結果の解釈等について、主に模擬データによる演習により体験しながら学ぶ。各回に提示する演習課題に取り組んでください。				
オフィスアワー	月曜日の昼休み、もしくはメール(y-kuraoka@jrckicn.ac.jp)にてアポイントをとってください。				
テキスト	グレッグ美鈴, 麻原きよみ, 横山美江: よくわかる質的研究の進め方・まとめ方 看護研究のエキスパートをめざして 第2版. 医歯薬出版, 2016.				
参考文献	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 萱間真美; 質的研究実践ノート. 東京, 医学書院, 2007.</li> <li>・ Immy Holloway, Stephanie Wheeler: Qualitative Research in Nursing (2<sup>nd</sup>). 2002, 野口美和子監訳: ナースのための質的研究入門. 東京, 医学書院, 2006.</li> <li>・ Margarete Sandelowski: 10 Key Questions Over Qualitative Research. 2013, 谷津裕子・江藤裕之訳: 質的研究をめぐる10のキークエスション. 東京, 医学書院, 2013.</li> <li>・ 佐藤郁哉: 質的データ分析法 原理・方法・実践. 東京, 新曜社, 2008.</li> <li>・ 松葉祥一・西村ユミ編集: 現象学的看護研究—理論と分析の実際. 東京, 医学書院, 2014.</li> <li>・ 川喜田二郎: 発想法. 東京, 中公新書, 1967.</li> <li>・ 山浦晴男: 質的統合法入門 考え方と手順. 東京, 医学書院, 2012.</li> </ul>				
評価方法	演習課題(50%) レポート(50%)				